

だんじゅかりゆし

(三下げ)

(遅調子)

1. だんじゅかりゆしや いらでい さしみせる
うーに ちなとう かじ
御船ぬ綱取りば 風やまとうむ サーサーかりゆし
2. 綱取ゆる御船ぬ 止しでい 止しまりみ
ちなとう うーに ゆ ゆ
いもちもり さとうめ うま
里前御待ちさびら サーサーかりゆし

(早調子)

1. だんじゅかりゆしや いらでい さしみせる
(ハルヨ-フニヨ-ユ-ハヒセ- サ-サ-ハヒセ- サ-サ-ハヒセ-)
ふに ちなとう かじ
御船ぬ綱取りば 風やまとうむ
(ハルヨ-フニヨ-ユ-ハヒセ- サ-サ-ハヒセ- サ-サ-ハヒセ-)
2. かりゆしぬ船に かりゆさ小乗してい
(ハルヨ-フニヨ-ユ-ハヒセ- サ-サ-ハヒセ- サ-サ-ハヒセ-)
たび い むどう いちゆ いちゆ うい
旅ぬ行ち戻い 糸ぬ糸ぬ上から
(ハルヨ-フニヨ-ユ-ハヒセ- サ-サ-ハヒセ- サ-サ-ハヒセ-)
ふい
3. うむていはなさかち とむにしぢ引かち
(ハルヨ-フニヨ-ユ-ハヒセ- サ-サ-ハヒセ- サ-サ-ハヒセ-)
ふに は は ちゆ
かりゆしぬ船ぬ走るが走るが美らさ
(ハルヨ-フニヨ-ユ-ハヒセ- サ-サ-ハヒセ- サ-サ-ハヒセ-)

< 解説 >

「だんじゅ」は「本当に」、「かりゆし」は「幸せ、めでたい」の意。
航海の無事を祈る内容であることから、祝座で「今日からの更なる発展」を祈念する場合に唄われます。

< 本島 >

(遅調子)

1. 本当に素晴らしい日です。
吉日を選んでいるので船の綱を取れば
風も順風だ。
2. とも綱を取った船は止めようとしても
止められない。
いっていらっしやい大切なお方。
お待ちしております。

(早調子)

1. 本当に素晴らしい日です。
吉日を選んでいるので船の綱を取れば
風も順風だ。
2. めでたい船にめでたさに乗せて
旅の行き戻り
糸に引かれるように
3. 前方には花が咲き
後方には軌跡が美しく
めでたい船は走る姿も美しい

だんじゅかりゆし(遅) (三下げ)

七 = 七#

歌:老四上中工五七#八九



四 中 工 中 工 五 五 四 五 五

四 中 工 中 工 五 八 九 八 四 七

だち あいな じゅとう かく ありう いう ゆう いうに いうに いやぬ いゆ いう

八 七 七 下尺 工 四 四 五 中 工 工

らでいさ あし いみ いせ え る 四 五 中 工 工

しでいゆ うし いいま あり い み 四 五 中 工 工

四 四 老 四 下尺 八 九 八 下尺 工 中 七 四

なり あとう りい ばあか あじ やま とっ う む

いさ あとう め えう うま ち さ び い ら

中 工 工 五 四 中 工

さ あ さ あ かり ゆし

- だんじゅかりゆしや いらでい さしみせる
御船ぬ綱取りば 風やまとむ ササかりゆし
- 綱取ゆる御船ぬ 止しでい 止しまりみ
いもちり里前 御待ちさびら ササかりゆし

